

議会だより ふだい



岩手県普代村議会
No. 168
令和6年8月1日発行

村民の皆さんと議会を結ぶ情報誌。一緒に考えよう、この村のカタチ。



いけえー!!
勝利へのバトン

普代小学校大運動会 5月18日

主な内容

村長の行政報告	2頁
定例会での質疑	3頁～4頁
定例会で決まった議案・請願	5頁
一般質問(3議員が村政を問う)	6頁～9頁

常任委員会報告書	10頁
主な議会の動き	11頁
未来予想図	12頁



村民の皆さんにお知らせしたい 柎屋村長の行政報告 (6月定例会)

主要な工事の状況

県道は、岩泉平井賀普代線の太田名部トンネルと黒崎トンネル間で、海側擁壁の安全調査が進められております。普代小屋瀬線の上区側の法面工事は、10月末までの完成を目指して進められております。芦渡側も契約済みとなり、上普代工区全体の年度内完成に目途が付きつつあります。

村道は黒崎3号線道路改良工事を9月に、沢山5号線道路改良舗装工事を10月に完成するよう施行しております。

漁港・水産は、太田名部漁港で、県事業の臨港道路工事が進められており、12月中の完成予定となっております。また、村事業の衛生管理型荷捌き所建設工事も年内完成予定で順調に進んでおりますし、村営住宅は、羅賀地区住宅建設が8月中の完成を目指して進められております。

くろさき荘の運営状況

令和5年度実績は、宿泊者数が4,181人(前年度比1,163人減)で、会食・入浴等も含めた全体利用客数22,982人(同1,603人増)となりました。また、営業収支は、収入が72,705千円(同13,049千円減)、支出が103,724千円(同7,756千円減)で、31,019千円の赤字(同5,293千円の赤字増)であります。大幅な収入の減に加え、賄材料や電気料などの高騰も影響したものでありますが、赤字の減少どころか一層の増加を招いたこと深くお詫び申し上げます。

今年度は、社会・経済活動の正常化への勢いを誘客拡大にもつなげられるよう、新プランの企画などに力を入れながら、あらゆる費用の見直し削減にも努め、収支改善の徹底を図るよう取り組んでまいります。

ふるさと納税の状況

5月末現在で76,671千円となっており、前年度比で件数、金額ともに120%を超えているところであります。きめ細かな寄付者対応の徹底などに努め、今後も前年度水準を上回って推移するよう取り組んでまいります。

地域おこし協力隊の状況

4月17日に任期満了での退任が1名、5月10日に新規採用での着任が1名となっており、現在、会計年度任用型2名、民間委託型6名の合計8名に活動いただいております。

7月1日には新規採用の1名の増員も予定されております。

また、4月1日より地域活性化企業人の委嘱もしたところでもあります。

普代村観光大使

本村の観光・物産並びに地域の復興に象徴的な存在として情報発信活動などをいただく「青の国ふだい・観光大使」として、元プロ野球選手の銀次さんを委嘱させていただきよう取り進めております。

能登半島地震被災地への復旧応援

県などとの連携により石川県能登町の住宅被害認定調査等業務に2回の派遣を行ったところであります。今後も可能な応援などに努めてまいります。

なお、社会福祉協議会からは石川県志賀町への応援派遣を行った旨の報告を受けております。

6月14日開会の6月定例会では、条例改正や補正予算など11議案を審議し、すべて可決しました。その中から質疑と答弁を抜粋してお知らせします。

一般会計補正予算(R5)

総務費

▽旧芦渡へき地保育所解体工事(過疎ソフト) 170万円減額

質問 解体後の跡地利用を考えているのか。

回答 現時点では決まっていない。

▽三陸鉄道駅管理需用費 8万円皆減

質問 皆減になっているが、予算計上の中身の説明を。



回答 堀内駅の管理となっている。掃除用具を地区のものを使用させていただいているため、新たな購入がなかった。

令和5年度は利用実績がなかった。

▽高齢者及び障害者にやさしい住まいづくり事業補助金 40万円皆減

質問 対象者の住宅のリフォームに対する補助金。令和5年度は利用実績がなかった。

衛生費

▽不妊検査支援事業助成金 10万円皆減

質問 不妊を心配する夫婦が不妊検査を受けた場合の助成金。令和5年度は申請実績がなかった。

民生費

▽交通安全母の会補助金 4万円皆減

質問 皆減の説明を。

回答 令和5年度の活動実績がなかったため。

▽手話通訳者報償費 3万円皆減

質問 聴覚障害者などが医療機関等を受診する際、同行の要請をするもの。



条例

▲村税条例の一部改正
定額減税による特別税額控除の条文追加。
国民健康保険税に係る課税限度額の引き上げ。
課税限度額を104万円から106万円とする。

総務費

一般会計補正予算(R6)

△役場庁舎空調設備修繕作業(自動制御緊急対応工事) 297万円
△役場庁舎敷地内駐車場線等塗替工事 178万円
△防災行政無線スピーカー増設工事 23万円
△土地購入費 3649万円
雑種地1筆
・太田名部簡水施設用地
宅地3筆
・診療所周辺用地
の合計4筆。

定額減税しきれない方へは 給付金を支給(調整給付)

普代村観光大使に 元プロ野球選手銀次さん



△普代村観光大使活用事業
13万円
元プロ野球選手の銀次さんを普代村観光大使に委嘱。
【質問】どのような活動、PRを要請していくのか。
【回答】名刺と顔写真付きのシールを作成し、特産品のPRをしていただく。
△青の国魅力情報発信事業
99万円
ふだいラジオでの村特産品のリスナープレゼント抽選数を増加。
(3名から5名)
ラジオ番組の放送のほか新たに普代村のイベントPRCMを追加。

民生費

△電力・ガス・食料品等価
格高騰重点支援事業(調整給付) 2203万円
定額減税で減税しきれない人へ給付。
△電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援事業(新たな低所得者) 798万円
令和6年度に新たに住民税所得割が非課税世帯となった世帯に給付。

△児童手当システム回収業務委託料 220万円
「子ども未来戦略」に基づき、現在使用している児童手当システムの改修を行うもの。

農林水産業費

△白井地区漁業研修施設修繕工事 270万円
避難所として停電時でも空調設備等が使用できるように非常用電源設備を増工する。(太陽光・蓄電システム)

土木費

△橋梁長寿命化修繕事業 400万円
深渡5号橋の補修設計並びに、過年度災害において被災している深渡6号及び7号橋の橋梁廃止検討のため、必要な調査測量設計業務を実施するもの。

教育費

△鶴島神楽国指定10周年記念事業助成金 35万円
東京での記念講演にかかる経費。

△強い水産業づくり交付金 1570万円
太田名部漁港新魚市場の運営に必要な電動フォークリフト、選別・陳列設備などの衛生管理設備購入に対する補助金。

【質問】国からこのぐらいの金額しか認められなかったのか。
【回答】実施主体の漁協から要望が出た分の補助となる。この金額が限度額ではない。

条例

▲特別職の職員の給与に関する条例の一部改正
村県民税の課税誤りなどの不適切な事務処理によって、村民に多大なるご迷惑をお掛けしたことによる監督責任として、7月分の給与を村長20%、副村長10%を減額するもの。
【質問】村長、副村長の減額割合の根拠は何か。
【回答】過去の例、他自治体の例を鑑み協議、検討した。なお、関係職員の処分も現在検討している。

定例会で決まった議案

議案番号等	議案等	審議結果
議案第1号	令和5年度 普代村一般会計補正予算(第10号)の専決処分に関し承認を求めると補正額2,316万5千円を減額し、歳入歳出予算の総額を44億5,307万5千円とするもの。国・県支出金等の確定、各種補助事業等の実績によるもの。	承認 (全員賛成)
議案第2号	令和5年度 普代村国民健康保険特別会計補正予算(第5号)の専決処分に関し承認を求めると補正額2,800万円を減額し、歳入歳出の総額4億500万4千円とするもの。	
議案第3号	令和5年度 普代村後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第3号)の専決処分に関し承認を求めると補正額227万6千円を追加し、歳入歳出予算の総額を3,382万3千円とするもの。	
議案第4号	令和5年度 普代村村税条例の一部を改正する条例の専決処分に関し承認を求めると地方税法等の一部を改正する法律及び地方税法施行令等の一部を改正する政令が公布され、令和6年4月1日から施行されたことに伴い、普代村村税条例の一部について所要の改正をしようとするもの。	
議案第5号	特定復興産業集積区域における固定資産税の課税免除に関する条例及び普代村過疎地域における固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例の専決処分に関し承認を求めると奄美群島振興開発特別措置法第38条の地方税の課税免除又は不均一課税に伴う措置が適用される場合等を定める省令等の一部を改正する省令が施行されたことに伴い、所要の改正をしようとするもの。	
議案第6号	特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 村長及び副村長の令和6年度7月に支給する給料の減額に関し、所要の改正を行うもの。	可決 (賛成多数)
議案第7号	特定教育・保育施設及び特定地域保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準及び子ども・子育て支援法施行規則の一部改正に伴い所要の改正を行うもの。	可決 (全員賛成)
議案第8号	令和6年度 普代村一般会計補正予算(第2号) 補正額2億3,372万円を増額し、歳入歳出予算の総額を44億6,814万5千円とするもの。歳入では、定額減税による村民税768万6千円減、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金3,000万8千円増(定額減税所得分ほか)、強い水産業づくり交付金1,569万5千円皆増、(過年度分)水産物集出荷機能集約・強化対策事業補助金1億1,960万円皆増が主なもの。歳出では、土地購入費(雑種地1筆、宅地3筆)3,649万3千円皆増、電力・ガス・食品等価格高騰重点支援事業(新たな低所得者)798万1千円皆増、そのほか職員の異動等による人件費、事業内容の変更等による増減が主なもの。	
議案第9号	令和6年度 普代村国民健康保険特別会計補正予算(第1号) 補正額19万3千円を追加し、歳入歳出予算の総額を4億1,819万3千円とするもの。通信運搬費19万3千円皆増。	
議案第10号	令和6年度 普代村後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号) 13万8千円を追加し、3,703万8千円とするもの。保険料還付金17万2千円増。	-
報告第1号	令和5年度 普代村一般会計予算繰越明許費繰越計算書 災害後方支援拠点広場整備事業、新魚市場整備事業、義務教育学校整備事業など、合計18事業、総額2億1,253万9千円を令和6年度へ繰越しするもの。	
発議案第1号	「教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書」の提出 国の施策として定数改善に向けた財源保障をし、子どもたちが全国のどこに住んでいても一定水準の教育を受けられるよう、2025年政府予算編成において、義務教育費国庫負担制度の負担割合を引き上げること国に求めるもの。	可決 (全員賛成)

みなさんからの請願

▲ゆたかな学びの実現・教職員定数改善・義務教育費国庫負担制度負担率の引き上げをはかるための、2025年度政府予算に係る意見書の提出を求める請願書

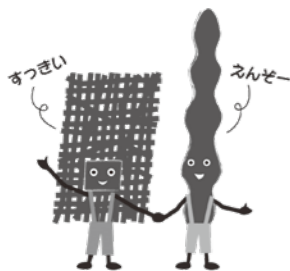
請願者

岩手県教職員組合
県北支部支部長
小関 貴博

紹介議員

金子 泰明
藤正 明

採択とし、国に意見書を送付する。



村政を問う

村の議題を熱く議論！

6月定例会の一般質問には、3人が登壇し、村の課題などに村当局の考えを問いました。村議会では「一問一答方式」で行っていますので、1人60分の制限時間内で質疑を繰り返します。

なか 中 がみ 上 かず 一 と 登 議員	1.紙の保険証廃止の対策について 2.地方自治法一部改正案について 3.プッシュ型インフレ不景気の住民支援策について	7ページ
おお 大 かみ 上 さとし 智 議員	1.まち・ひと・しごと創生法施行10年に関して 2.普代村の創出事業の仕事モデルについて 3.移住促進戦略について	8ページ
さい 齊 とう 藤 まさ 正 あき 明 議員	1.家族介護慰労金支給事業について 2.住宅用火災警報器の維持管理と補助制度について	9ページ

一般質問とは、本議会で議員が、執行機関である村長などに対し、村政全般に関する事務の状況や将来の方針などについて問うものです。一般質問は3月、6月、9月、12月の定例会に限り認められています。

「一般質問」村政を問う

紙の保険証を残すべきでは

必要な被保険者には資格確認書を交付していく

梶屋村長

紙の保険証廃止の対策について

質問 今年12月2日に紙の保険証が廃止になる予定とされている。マイナンバーカードについては、まだまだセキュリティの問題があり、紙の保険証も選択できる余地を残して、時間をかけて利用率100%を目指すべきであると思う。

自治体からも政府に対して声を上げていくべきでは。村長の見解を伺う。

答弁

梶屋村長

12月以降も必要な被保険者には、紙の保険証と同様の内容が掲載された資格確認書が申請や、自治体の職権により交付される。この制度が運用されていく中での課題などについて、各市町村とともに要望などしながら、村民の方々に不便などが生じないように取り組んでまいりたい。

地方自治法一部改正案について



質問 改正案では、安全を理由に国の指示権を認めて、政府の支配介入を容認している。住民の福祉の増進を図るべき自治体にとっては、住民の安全は根幹に関わるはずでこれを理由に権力的介入を認めれば、対等協力という基本的な関係を崩すことになる。

これまでの地方分権の流れから、一気に中央集権化へと180度の転換になることも危惧されている。村長の見解を伺う。

答弁

梶屋村長

この改正案への私どもの見解としては、これが直ちに中央集権への展開の流れにつながるものと

プッシュ型インフレ不景気の住民支援策について

先日、産業経済常任委員会で商工会会員の方々と懇談会を行った。人口減少や物価高など、景気の厳しさをづくづく実感していることが伝わった会であった。商店街では独自にイベントを開催し、努力している中で、そこに行政がどれだけバックアップできるのか、しているのかを伺う。

質問

先日、産業経済常任委員会で商工会会員の方々と懇談会を行った。人口減少や物価高など、景気の厳しさをづくづく実感していることが伝わった会であった。

答弁

梶屋村長

村の担当課でもその実施主体の意向などに沿ってのバックアップを、可能な限り工夫などもした

「マイナンバー」と「マイナンバーカード」の違い

	マイナンバー	マイナンバーカード
一言で言うと?	12ケタの番号そのもの	マイナンバーが記載されたICチップ付きのカード
誰がもっているの?	日本に住民票がある人全員(日本に住民票がある外国人)	日本に住民票がある人のうち交付の申請をした人
何に使うの?	行政手続きの速く正確な事務処理に	1.正しいマイナンバーの証明に 2.本人であることの証明に

中で行いたいというスタンスで取り組んでいる。是非そういった団体等には気軽に声がけ、相談などをいただければと思う。



大上 智

創出事業、都会ニーズとミスマッチか

移住者の100%マッチングはありえない

榎屋村長

まち・ひと・しごと創生法施行10年

質問 新聞報道によれば、まち・ひと・しごと創生法施行10年経過した現在において、直近1年間の村総人口の減少率、今後30年間の若年女性の人口減少推定値及び消滅可能性自治体として、県内トップにランクインされているが、この10年間の施策の成果は。

回答 榎屋村長 村として、まち・ひと・しごと創生推進会議を諮問機関として設置し、主要事業の課題などについて検討する村長政策レビューを実施等しながら、懸命に取り組んできたが、流出減少の歯止めになっていない。これまでの施策（緑青の国ふだい）の設立などによる雇用の場の創出、結婚・出産・子育てへの助成制度の継続、移住者誘致の促進による村の活性化、人口維持に努め、先々に挽回

普代村の創出事業の仕事モデル

質問 「移住者誘致と持続可能な普代村の創出事業」は、都市部人材のニーズに合致しないためか、仕事モデルに対して不調であるように思われるが。

回答 榎屋村長 仕事モデルに対する移住者のミスマッチは、あつて当然であると考ええる。仕事モデルの実践が、村内事業者や生産者の新たなチャレンジへの契機となるよう期待し、村の活性化の重要な取り組みと考えている。

移住促進戦略

質問 あまり政府の移住促進戦略に偏らず、それと並行して、ずっと普代村に住み続けたいと思える、村の内面の環境整備に力を入れるべきでは。

回答 榎屋村長 DX推進人材、水産業振興人材、空き家利用活用人材、萩牛集落支援鉄山染め人材で、本年4月にDX推進人材は着任しており、水産業振興人材は7月着任予定である。



みんなで「うずまき模様」に植えた田んぼ
地域おこし協力隊中村俊一さん

家族介護慰労金の支給事業制度を

本村に適した制度になるよう取り組む

榎屋村長

家族介護慰労金支給事業について

質問 高齢化の進行に伴い、家庭内の介護をめぐる状況が年々厳しくなっている。

回答 榎屋村長 家族介護者の実態を把握したうえで、様々な状況に応じて細かな対策を検討していくべきと考える。少しでもご家族のご労苦を支える家族介護慰労金支給事業制度を是非とも設けるべきと考えるが、村長の見解を伺う。

質問 高年齢の進行に伴い、家庭内の介護をめぐる状況が年々厳しくなっている。

住宅用火災警報器の維持管理と補助制度について

質問 住宅用火災警報器の維持管理と補助制度についての対策、支援に向けた取り組み3点を伺う。

回答 榎屋村長 住宅用火災警報器の設置義務から10年以上経過し、電池切れや故障などによる

質問 不作為等が懸念されるが、この対策をどのように講じていくのか伺う。

回答 榎屋村長 電池切れや、故障などによる不作為等への対策は、毎年春と秋の火災予防運動期間中に普代分署の署員による一般家庭予防査察において、作動試験の実施と故障している場合の交換のことについて要請などを行っている。

質問 住宅火災における安全確保と、高齢者の逃げ遅れを防ぐためにも火災警報器に対する補助制度を設けるべきと考えるが、見解を伺う。

回答 榎屋村長 全国的にも住宅火災警報器が一般家庭に広く普及し、価格も安い製品だと、3000円程度で検定品を購入できる状況にあり、新たな補助制度を設けるまでの状況には今現在ないと考えている。



質問 住宅用火災警報器の設置義務から10年以上経過し、電池切れや故障などによる

回答 榎屋村長 点検交換の状況について、シールなどで外部からの確認は、訪問販売業者等に悪用され、押

主な議会の動き

(3月定例会～6月定例会 諸報告より抜粋)

月 日	場 所	事 項	出 席 者
3月5日 ～8日	役 場	村議会第2回定例会	各議員
23日	自然休養村 管理センター	第12回普代村社会福祉大会	正路議長
26日	久慈市	久慈広域連合議会臨時会及び議員全員協議会	中上、森田議員
27日	役 場	村議会第3回臨時会	各議員
4月13日	宮古市	三陸鉄道開業四十周年記念式典	古沼副議長
15日	役 場	議会広報常任委員会	各委員
23日	役 場	議員全員協議会	各議員
24日	役 場	議会広報常任委員会	各委員
28日	普代中学校 校庭ほか	普代村消防団特別点検	正路議長、古沼副議長、 松葉、齊藤、嵯峨、森 田、大上智議員
5月10日	太田名部漁港 及び役場	産業経済常任委員会村内視察・懇談会	嵯峨委員長、中上副委 員長、齊藤、古沼委員、 正路議長
14日	宮古市	国道340号宮古岩泉間整備促進期成同盟会通常総会	正路議長
15日	鵜鳥神社	鵜鳥神社例大祭	正路議長、古沼副議長、 大上智議員
16日	山田町	東部町村議会議長会定例総会	正路議長、古沼副議長
20日	役 場	議員全員協議会	正路議長、古沼副議長、 金子、松葉、齊藤、中 上、嵯峨、大上智議員
	八戸市	八戸・久慈自動車道整備利活用促進期成同盟会 定例総会	正路議長
21日～22日	東京都	全国町村議会議長会・副議長研修会	正路議長、古沼副議長
22日	宮古市	三陸地区国道協議会総会、岩手県三陸沿岸道路整備促 進期成同盟会総会	正路議長
27日	盛岡市	(一社)岩手県漁港漁村協会定時総会	正路議長
31日	盛岡市	岩手県町村議会議長会町村議会議員研修会	松葉、齊藤議員
6月10日	役 場	議会運営委員会	各委員、正路議長、古 沼副議長



産業経済常任委員会調査報告書

1 日時及び内容

令和6年5月10日(金)午前8時50分から午前11時45分

- ①太田名部漁港新魚市場建設現場視察
- ②商工会会員との懇談会

2 出席者

委員長 嵯峨 典行 副委員長 中上 一登 委員 齊藤 正明、古沼 和也
議長 正路 正敏

3 調査の概要及びまとめ

①太田名部漁港新魚市場建設現場視察

対応者：宮城建設(株)、建設水産課職員

工 期：令和5年8月17日～令和6年10月10日(421日間)

進捗率：29.63%

現在の進捗状況の説明を受け、工程表どおり進んでいるとの事。実際に建設現場内を視察し、どこにどのような設備を設置するなど、現場を見ながら説明を受けた。

新魚市場の整備にあたって、漁業者、市場関係者の皆さんの作業しやすい施設が、工期限内に完成できるよう、今後も安全第一で工事を進めていただきたい。

②商工会会員との懇談会

商工会参加者：商工会会員4名、商工会事務局2名

会員4名からそれぞれ、①現状について、②将来の見通し、③村政への要望を話していただいた。

会員の方からは村の予算の使い方として、「移住者対策も大事だがもっと現村民への施策を」、「物ではなく人に対する予算を」といった声が多数あり、住民向けの施策検討を行っていく必要があると感じた。

商工会では、コロナ禍からの円安、物価高騰、少子化、人口減少など問題は山積しているが、その中で小さい商店街でも出来ることを模索している。村へは、「小さい自治体だからこそ出来る、平均的にちょっとずつ予算を掛けるのではなく、何か突き抜けることを覚悟をもってやっていただき、面白い村になって欲しい」との意見があった。10年後、20年後を見据えて他の自治体との差別化を図っていかなくてはいけないと感じた。

また、「イベントや商品開発などをいろいろなアイデアを出し、工夫しながら頑張っているのでもう少し応援していただきたい」との要望があったので、是非前向きに検討を行っていただきたい。

懇談会での商工会会員の方々の声は、とりまとめて村長へ報告いたします。

(令和6年5月20日報告済み)





V O I C E 未来予想図 Fudai

地域で支え合い！

ささはら ゆうき
笹原 裕樹さん (37)

保健センター・包括支援センター所属の笹原と申します。各種検診、介護予防・健康教室、各地訪問・相談など、直接住民の皆さんと関わる機会が多いですが、その際いつもユーモアと笑いで逆に元気を頂いています。

普代村は、高齢化率県内上位で約半数が65歳以上の高齢者となっています。この点をマイナスに捉えず、健康寿命を延ばし、皆で支え合いを目指しましょう。地域での生活を継続できる仕組みづくりを包括としても取り組んでいるところです。高齢者の皆さんに限らず、困った時はいつでも相談してください。😊



皆さまのご協力をお願いします！

おばら ともふみ
小原 睦史さん (25)

令和4年10月より役場政策推進室に所属になり、今年で2年目となります。日々の業務では、元気かつ丁寧な対応を心がけております。主な業務は、再生可能エネルギー関係を担当しております。普代村のもつポテンシャルをより多く活用できるような取り組みを推進し、村民の皆さまのご理解、ご協力を得られるよう日々邁進していきたいです。

そのために、多くのご意見、ご指導をいただくと共に、普代村全体で活気ある村を作っていけるよう私自身全力を尽くしていきたいです。どうぞよろしくお願います。😊



松葉 明人 広報委員

いつも住民の健康のために、幅広くお仕事ありがとうございます。笹原さんがおっしゃるように高齢化がマイナスと捉えずに、みんなが、「明るく元気に長生き」を目指しましょう。

私も、ウォーキングチャレンジしています。普代にも足腰に負担の少ないウォーキングコースがあればいいですね。これからも住民の皆さまの「健康づくり」をよろしくお願います。

広報委員からの返信



大上 智 広報委員長

地球温暖化、脱炭素化、再生可能エネルギーと、グローバルな課題解決、及び政策推進は、逆に、あなたの持つ溢れる熱量にかかっています。

活気ある普代村の再生にこれからも期待しています。

議長	正路 正敏
発行責任者	大上 智
副委員長	齊藤 正明
委員	松葉 明人
副委員長	古沼 和也
議会	議会広報常任委員会

あ
と
か
き

最近の気象は、海水温上昇など厳しい環境変化で私たちの生活に大きな影響を与えています。

特に環境変化は深刻で、海水温の上昇が生態系を変えています。

水産業は村の基幹産業であり、今後も普代の漁業が未来に向かって守り続けられることを願っています。

(齊藤正明)

県内トップを切って、普代浜の海開きが行われました。

天気にも恵まれ、たくさん海水浴客に訪れていただきました。

海は楽しい場所ですが、危険な場所でもあるので十分気を付けて遊んでください。

(古沼和也)

今回の「議会だより」は、いかがでしたか。皆さんの声をお待ちしています。一緒に考えよう この村のカタチ。



ふだい議会だよりはスマートフォンでもご覧になれます。



■発行日 令和6年8月1日 ■発行 普代村議会 ■編集 議会広報常任委員会
〒028-8392 岩手県下閉伊郡普代村第9地割字銅屋13番地2
TEL 0194-35-2118 FAX 0194-35-2712